

## ワーク・ライフ・バランス推進企業の取組PR

認証番号	080	認証年度	平成 30 年度
企業（団体）名	インプラス株式会社		
本社所在地	名古屋市中区丸の内二丁目 3 番 31 号 新村上ビル 2F		
市内事業所所在地	同上		
電話番号	050-3802-1136		
事業内容	情報サービス業（ソフトウェア業）		
従業員数	市内の事業所	4 人	（内女性） 0 人
（平成 31 年 1 月 1 日時点）	企業全体	6 人	（内女性） 0 人
ワーク・ライフ・バランスの取組に関するウェブサイト URL	HP 企業概要： <a href="https://implus.co.jp/profile.html">https://implus.co.jp/profile.html</a> 公式ブログ： <a href="https://implus-jp.blogspot.com">https://implus-jp.blogspot.com</a> 公式 Facebook： <a href="https://www.facebook.com/implus.co.jp">https://www.facebook.com/implus.co.jp</a>		

### （取組の経緯）

設立より「社員とその家族を幸せにする」ため、社員のワーク・ライフ・バランス向上は必須であると考え取り組んでいます。ワーク・ライフ・バランスによる従業員満足の上昇と、生産性・品質・顧客満足の上昇には相関があり、好循環を目指す経営戦略としての捉え方もしています。今後も継続的に取り組んでいきます。

### （主な取組内容）

- ・原則残業禁止
- ・毎月 2 回終日会議「良くする会」
- ・毎月 2 回事務所で鍋会「社鍋」
- ・ES 向上プロジェクト
- ・生産性向上プロジェクト
- ・出勤が待ちきれない楽しい職場（コミュニケーション向上）活動
- ・帰宅が待ちきれない幸せな家庭（ワークライフバランス向上）活動
- ・社員の企画実行による社員旅行
- ・毎日、朝礼（1 時間）、夕礼（15 分）
- ・週 1 回早退日（時短日）1 時間早く終業
- ・在宅テレワーク（週 1 回）
- ・サテライトオフィス開設（三重県四日市）
- ・定年制廃止
- ・年間休日約 130 日
- ・有給休暇は初年度より最大 20 日付与（入社時期による）
- ・年次有給休暇計画
- ・飛び石連休は有給を充当して連休化
- ・時間有給取得制度
- ・教育訓練休暇制度
- ・有給取得率向上活動

- ・正社員登用制度
- ・社員キャリアプラン策定
- ・育児休暇・介護休暇の取得推進
- ・顧問弁護士に個人相談可能
- ・職場実習、トライアル雇用実施（障害者）

（従業員の声）

◆原則残業禁止

- ・限られた就業時間を意識して、1日の作業を計画実行するようになった。

◆毎月2回終日会議「良くする会」

- ・会社経営に関わることで、会社の一員という意識が高まる点が良い。

◆在宅テレワーク（週1回）

- ・通勤時間の分、朝と夕で時間に余裕を持った生活ができる。
- ・一人で集中したいときに有効。

◆年次有給休暇計画

- ・予め休暇を計画しておくことで、スケジュールに反映させることができる。
- ・「忙しいから休暇は取れないかもしれない」という心理的ハードルが下がる。

◆毎朝1時間朝礼

- ・相談がじっくりできることで、実施前と比べて仕事の進捗等が改善された。
- ・話し合うことが増え、コミュニケーションがより良好になった。

◆週1回早退日（時短日）1時間早く終業

- ・他の平日にできなかった自宅の掃除や洗濯などができるようになった。
- ・普段と異なる時間に仕事が終わると新鮮さがある。

◆飛び石連休は有給を充当して連休化

- ・飛び休ルールが決まっているので計画が立てやすく、旅行など家族と出かける回数を増やすことができた。

◆ES向上プロジェクト

- ・社員それぞれ、「満足」についての認識や考え方の違いがある事が理解できた。
- ・グループワーク、イベント参加、地域清掃などの実践によりES向上を実感。

◆毎月2回事務所で鍋会「社鍋」

- ・少額の負担で美味しい食事ができる。
- ・親睦会が頻繁に開催できる。
- ・協力作業から得られる達成感や、料理スキルの向上もできている。
- ・健康に拘った食材を選んでいるので、毎日の食事や健康に気を使うようになった。

◆時間有給取得制度

- ・私用の短時間の用事を済ませやすい。
- ・例えば平日にしかできない銀行の新規口座開設に行くなど、直ぐ必要ないが、いつか済ませておきたい用事を片づけることができる。
- ・午前のセミナーや出張の際、午後に有給取得をして時間を有効活用できる。

◆サテライトオフィス開設（三重県四日市）

- ・採用しづらい昨今に2人社員を増やすことができた。（2018年）
- ・場所に依存しない採用やグループ作業に、新たな可能性を感じている。
- ・テレワーク、サテライトオフィス開設は将来への基盤づくりだと感じる。



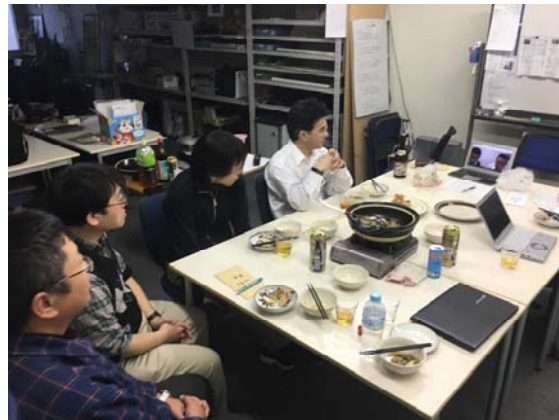
E S 向上プロジェクトで討議中の様子



生産性向上プロジェクトFBチャート



毎週こだわりの「社鍋」調理中！



サテライトと Web 会議でコミュニケーション